



発行：近畿長野県人会 会長 高坂昌利

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-800

大阪駅前第1ビル8F 長野県大阪事務所内

TEL 06-6341-8191 (代) E-mail:kinkinagano@gmail.com

編集：近畿長野県人会 広報部会

印刷：コア(株) TEL 06-6968-5534

第4回全員懇親会開催

～えびっさん総社参拝とえびす座の人形芝居鑑賞～

9月17日(土)午前11時から、全国えびす宮の総本社である西宮神社の境内にある西宮神社会館で、第4回全員懇親会が開催された。天候にも恵まれ、京都長野県人会、兵庫県長野県人会のご協力もあり、約70人が参加した。

今回は中信地区役員が担当、太田博副会長・中信地区長(大町市出身)が中心となって企画。西宮神社本殿で全員が参拝した後、第1部では人形芝居えびす座の「えびす舞」を鑑賞、第2部の懇親会では食事を楽しみながら交流、全員参加のクイズなど大いに盛り上がった。

西宮神社本殿で全員参拝

神社本殿において全員で参拝。高坂会長、太田副会長が玉ぐしを捧げ、宮司さんの祝詞、巫女さんの浦安の舞の後、御祓いを受け厳かに身も心も清められた。

第1部 人形芝居えびす座の公演

会館に戻り第1部がスタート。平林運敏常任理事(塩尻市出身)の司会のもとに高坂会長が開会挨拶と来賓を紹介。次いで太田中信地区長が「長野県は西宮神社・えびす神社が全国で最も多く、えびす講祭が各地で行われているので、西宮神社で開催し、皆さんに来ていただいた。えびす舞を楽しんで下さい。」と今回の企画の趣旨を説明、西宮神社の吉井良昭宮司が同神社の由緒について詳細説明された。



人形芝居えびす座(座長・武地秀実さん)による公演は、始めに五穀豊穰を祈り、土地を踏み鳴らし、天地の神々を呼び起し、種を播くというご祝儀「三番叟まわし」が演じられ、続いて信州の話題・真田六文銭、諏訪湖などを取り込んだ“平成の人形芝居”「えびす舞」を、首から下げたえびす人形を操り、人形は生きていく如く見事な演技を披露された。最後にえびす人形が鯛を釣り上げると拍手喝采となった。

上演後、武地座長がえびす人形と各テーブルを回り、会場の皆さんと交流していただいた。



吉井宮司



三番叟まわし



(えびす舞) たこを釣るえびすさん



▲えびす座と交流▶

第2部 懇親会

第2部の懇親会は、海沼喜邦理事(千曲市出身)の司会のもと、小林道明副会長・親睦部会長(長野市出身)が開宴の挨拶。来賓の代表として今年4月に就任された樋口隆教長野県大阪事務所長が挨拶、事務所・観光情報センターの業務などを紹介・PRされた。

樽酒の鏡開きは代表者6人が舞台上上がり、高坂会長の「セーノ！ヨイショ！」の掛け声とともに木槌を振り下ろし見事開き、地元木谷酒造の清酒「えべっさんの酒」で乾杯をした。

会食は「竹葉亭」の松花堂弁当と吸物が用意され、歓談しつつ一流料亭の味を堪能した。

各テーブルには信州ハム(株)提供の「サラミソーセージ」、県人会提供のおかき、太田副会長寄贈の境内で売られている「みたらし団子」と「鯛焼き」が置かれ、大好評であった。

食事が一段落したところで来賓のスピーチになり、京都長野県人有賀一夫会長、兵庫県長野県人会赤羽嘉紀会長、信濃毎日新聞社名古屋支社上田多一支社長、信州ハム(株)関西営業所金子和夫課長から近況など紹介があった。



6人で
鏡開き



余興—全員参加でクイズを楽しむ

余興は中井良策親睦部会・常任理事(佐久穂町出身)の進行のもとに勝ち残り〇×クイズでは5問を連続正解した10人に、続くとんちクイズでは1番早く手を上げて正解した会員に、景品として信州ハムの「真田の郷・サラミセット」がプレゼントされた。

司会者が「信州は日本一の長寿県です。いつまでも健康で長生きする秘訣を盛り込んだ歌の歌唱指導をお願いします」と声を掛けると、小林親睦部会長が登場。「もしもし亀よ」のメロディで「ぼけます小唄」と「ぼけない小唄」を全員が大きな声で歌った。

楽しいひと時はまたたく間に過ぎて、恒例の県歌「信濃の国」を6番まで斉唱、太田副会長・中信地区長の挨拶で閉会となった。

(清水嘉江子 松本市出身)

[寄贈]

- ・信州ハム(株)：サラミソーセージ 80個
- ・太田博副会長：みたらし団子・鯛焼き 各80個
- ・高坂昌利会長：えべっさんの酒 500ml 16本



全員で
〇×クイズ

信濃の国
斉唱



楽しかった人形芝居「えびす座」

太田 豊和

全員懇親会が西宮神社で開催されました。今回は西宮えびす所縁の「えびす座」の人形芝居が演じられました。えびす信仰を広めるため、えびす人形の箱を首から下げて人形を操り全国を廻った文楽のルーツといわれる「えびすかき」の復興を目的に活動しているのが「えびす座」です。古典芸能は堅苦しいと思いがちですが、「えびす座」は演者と観客が一体となって盛り上がり楽しい芝居でした。

五穀豊穡の舞い「三番叟」で始まり、昔ながらの一人遣いのえびす様の登場です。最後の鯛を釣り上げるまでに、いろいろな物を釣ります。釣り上げる時は皆手拍子で、信州にちなんだ「真田六文銭」が釣れた時は拍手喝采でした。

人形芝居と信州のつながりですが、飯田市は「人形劇のまち」として毎年8月に「いいだ人形フェスタ」が国際的規模で開催されているそうです。人形座もいくつか現存し、このもとは、関西からの旅芸人によって伝えられたそうです。

文楽を楽しみましょう

文楽協会の技芸員鶴澤清志郎さんは飯田市出身で、子供の頃から人形を遣い、今は三味線弾きの若手として活躍中で、鋭いバチ捌きでファンも多く、将来の文楽を担う人材です。この10月29日からの文楽劇場での公演では「勧進帳」に出演されます。

文楽の演目としては、諏訪湖を舞台とした「本朝廿四孝」の“狐火の段”が有名です。武田勝頼の危機を救うため、白狐に化身した八重垣姫が氷結した諏訪湖を渡る姿は幻想的です。関西生まれの人形浄瑠璃、文楽をもっと楽しみましょう。(千曲市出身)

県大阪観光情報センターだより

長野県大阪事務所長 樋口 隆教



新任ごあいさつ

長野県大阪事務所長として、この4月に着任いたしました樋口隆教でございます。

近畿長野県人会の皆様には、日頃から当事務所の運営、そして故郷、信州・長野県の発展に多大なる御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

また、同好会の活動におきまして、会員相互の懇親を深められるとともに、甲子園での高校野球や花園でのラグビー、京都や広島での駅伝大会の応援をはじめとした貴会の活動は、関西における長野県関係者の大きな拠り所であり、長野県民にとりまして非常に心強いものとなっております。

さて、私事で恐縮ですが、関西の方々の人情味あふれる優しさに触れ、何とか赴任から半年が過ぎようとしております。この間、信州と関西との「慣習の違い」を見出すことを楽しんでおりましたが、逆に、歴史的な背景から来る信州と関西との「深い共通点」が意外と多くあることに気が付きました。

例えば、今の旬の話題であるNHKの大河ドラマ「真田丸」でございますが、「西軍」、「豊臣方」

の主人公・信繁(幸村)の一族、真田三代の故郷は信州の上田。兄・信之は長野市の松代藩主になりました。

また、長野の善光寺の御本尊である阿弥陀如来様は、善光寺縁起によれば、信濃の国の本田善光が「難波の堀江」からお迎えしたことになっております。

食べ物に関しても、野沢菜は野沢温泉村の住職が遊学した際、天王寺から持ち帰った「天王寺蕪」の種が元だと言い伝えられておりますし、信州独特のおやきですが、大阪の食文化である「粉もん」の一つでもあります。

当事務所は、関西から長野県内への観光誘客、企業誘致や移住促進、長野県産の農産物の販路拡大等が主な業務ですが、こうした業務のベースとして、関西における信州・長野県の情報発信という重要な役割がございます。前述した「深い共通点」をうまく活用しながら、情報発信に積極的に取り組みたいと考えております。

県人会の皆様方におかれましては、今後とも関西における信州の強力な応援団として、お力をお貸しいただければ幸甚です。

安全で楽しい登山をするなら

平成28年8月11日は、初めての国民の祝日となった「山の日」で、上高地などでは記念すべき第1回の全国大会が開催されました。

また、長野県では、日本を代表する山岳県としてふさわしい登山の安全対策を総合的に推進するため「長野県登山安全条例」を制定しました。これにより平成28年7月1日から、長野県内で指定された登山道を通行して登山をされる際に

は、「登山計画書」の提出が必要になりました。

山に登る前に、「信州山のグレーディング」を参考にし、自分にあった登山計画を立て、「山を知る」ことが、安全で楽しい登山につながります。

登山計画書は、WEB(山と自然ネットワーク「コンパス」)からの提出が手軽でお奨めですが、紙での提出(郵送・持参)も可能です。

また、登山とは違ったトレッキングとして、霧ヶ峰や美ヶ原高原など山歩きが楽しめるコースも多数ありますので、行く先々の情報について当事務所へお問合せください。



木曾駒ヶ岳の紅葉

千国街道～塩の道をたずねて～

松本城下から新潟県糸魚川市まで約120kmを結び、信州側で「糸魚川街道」、越後側で「松本街道」と呼ばれた千国(ちくに)街道は、又の名を「塩の道」といわれていました。

糸魚川からは、西まわりコースで小谷村に入るコースと、東まわりコースで大綱峠越えコースと鳥越峠越えコースで小谷村に入る三つのコースがあります。西まわりコースと大綱峠越えコースはJR平岩駅付近で合流し、鳥越峠越えコースはJR南小谷駅付近で合流し、1本になり松本まで続きます。

街道には、名所旧跡も数多く、当時の風情が多く残っています。

JR大糸線を活用することで、トレッキングに加え、温泉旅館で一息といったオリジナルプランを楽しむことができます。

また、秋には紅葉の塩の道ガイドツアーや小谷村ではきのご祭り、おたり新そば祭りが開催されます。

時代をタイムスリップし、先人たちが往来した千国街道～塩の道～を散策してみたいでしょうか。

冬季「銀嶺国体」が開催されます!

第72回国民体育大会冬季大会が、今冬、長野県で開催されます。

美しい山々に恵まれた信州は、ウインタースポーツに適しており、また、Mウエーブなど世界大会が開催される施設も整っていることから、国内のトップアスリートたちによる最高のパフォーマンスが期待できる大会になりますので、直接、観戦されることをお奨めします。



第72回国民体育大会冬季大会

氷雪に かがやけ君の 技から

ながの銀嶺国体

スケート競技会・アイスホッケー競技会
平成29年1月27日(金)～31日(火)
会場地/長野市、岡谷市、軽井沢町

スキー競技会
平成29年2月14日(火)～17日(金)
会場地/白馬村

近隣長野県人会トピックス

[京都長野県人会]

定時総会・懇親会を開催

5月15日(日)11時から京都東急ホテル1階「鞍馬の間」で来賓・会員約50名が出席、開催された。

総会是有賀一夫会長が議長となり挨拶、来賓紹介のあと議事に入り、平成27年度事業報告・収支決算報告など議案すべてが承認された。

懇親会は山田孝久事務局長が司会。来賓として長野県太田寛副知事が挨拶、「真田丸」放映による観光効果、山の日(祝日)、植樹祭等々長野県でのイベントを紹介。長野県大阪事務所樋口隆教所長が就任の挨拶と乾杯の音頭をとって宴に移った。

宴が進みカラオケタイムでは会員が自慢の歌を披露。最後に船坂昭夫副会長の閉会の辞でお開きとなった。(高坂昌利会長出席)



[兵庫県長野県人会]

総会及び懇親会を開催

4月24日(日)11時から神戸ポートピアホテル29階 聚景園で来賓・会員22名が出席、総会・懇親会が開催された。

総会では冒頭、先に逝去された相談役・龍口昭夫さんに黙とうし、議事に入った。提案された5議案すべてが承認された。

懇親会は矢島利久事業副部長・事務局長の司会で始まった。赤羽嘉紀会長が「創意工夫し

て何としても会員数を増勢に転ずるよう努めたい」と挨拶。来賓の長野県大阪事務所樋口隆教所長、有賀一夫京都長野県人会長などの挨拶があり、近畿長野県人会高坂会長の乾杯で宴がスタート。会員の「一言トーク」があり、矢島副部長のギター伴奏による童謡・唱歌もあって、和気藹々と進んだ。(高坂昌利会長出席)



[淡海長野県人会]

総会・懇親会を開催

6月25日(土)11時からクサツ・エストピアホテルで来賓・会員38名が出席、開催された。

総会では、27年度事業報告・収支決算報告、28年度事業計画・収支予算に続いて役員改選があり、小林圭介会長(箕輪町出身)が再任され、その他の役員も選任された。

懇親会は清水晃副会長の司会で進行。小林会長の挨拶のあと来賓を代表して長野県大阪事務所樋口隆教所長が挨拶、宮尾悦夫顧問の音頭で乾杯、祝宴に入った。

今回は地元出身のプロ演奏家 奥野隆さんのクラシックギター演奏があった。また会場には会員の作品が展示・披露されていた。

(高坂昌利会長出席)



[在広島信州県人会]

総会・納涼会を開催

深澤会長が退任、新会長に小林計夫副会長

7月16日(日)午後5時から広島市文化交流会館2階「ルミエール」で来賓・会員33名が出席、開催された。

総会では冒頭、瀬野尾有司事務局長のご逝去に黙とうを捧げた。深澤禧昌会長が「12年間会の運営を担ってきたが会長を辞任、新体制で取り組んでいただきたい」と挨拶。

27年度事業報告・収支決算、28年度事業計画・収支予算、会則の改正を承認、役員改選が行われ、新会長に小林計夫副会長(長野市出身)、新事務局長に渡邊洋征理事(松本市出身)が就任した。

休憩後、全員で記念写真を撮影。

納涼会は原田あつ子副会長の司会で始まった。小林新会長の挨拶に続いて来賓として京都長野県人会 有賀一夫会長、長野県大阪事務所 樋口隆教所長が挨拶。近畿長野県人会高坂会長の音頭で乾杯、宴会となった。宴が進んだところでカラオケタイムとなり、会員が自慢の喉を披露して大いに楽しんだ。

(高坂昌利会長出席)



小林新会長挨拶

[関西千曲会]

総会・懇親会を開催

7月2日(土)11時から大阪市中央区の大阪キャッスルホテル3階・錦城閣で岡田昭雄千曲市長が出席して開催された。

総会では、27年事業報告・決算、28年事業計画・予算、会則改正、役員選任などの議案が承認され、「千曲市の経済状況と北陸新幹線新駅誘致について」と題して岡田市長の講演があった。

懇親会は来賓挨拶、乾杯の後、ソプラノ歌手のミニコンサートなどがあり、和気藹々と進んだ。



岡田市長の講演

長野県酒造組合主催
「2016長野の酒メッセ」開催

4月18日(月)午後5時から大阪新阪急ホテル2F紫の間で「2016長野の酒メッセ」が開催された。

大阪では3回目の開催で、今回も酒造組合の要請を受けて会員300名全員にDMを発送した。今年は長野県内の酒造メーカー52社が参加。各社のお酒が試飲できるので有料であるが日本酒好きの会員と家族、友人など約20名が参加し、それぞれの好みの銘柄の試飲を楽しんだ。オープンの5時前に並び、入り口でいただいた「オリジナルきき猪口」を持って少しずつ試飲したが、10社ぐらい回るとアルコールがかなり効いてきた。

今回は来場者が増え賑わってきたタイミングで長野県太田寛副知事が挨拶、長野県のお酒をPRされた。

(高坂昌利)



6県合同「桃」販売 開催

6県合同の桃販売が8月2日(火)と3日(水)の2日間、大阪駅前第1ビル地下2階の特設コーナーで開催された。各県自慢の桃を1玉ずつ計5~6玉を1箱に詰め合わせ、5玉入り1,800円、6玉入り2,200円で販売。

全国の桃の生産量ランキング上位の6県(長野・山形・福島・山梨・和歌山・岡山)の桃がセット販売されるので大好評であった。収益は、義援金として寄贈されました。



同好会の活動の報告

[カラオケ同好会]

◇第10回開催 H28.3.7(月)

- ・歌謡練場うたおう(天神橋3丁目)
 - ・参加者 19名(男子13名、女子6名)
- 経営者が変わり、新装開店の「うたおう」で楽しく、にぎやかに開催した。過去最高の19名が参加。



みんなで御嶽海応援の横断幕を広げて

◇第11回開催 H28.6.13(月)

- ・歌謡練場うたおう(天神橋3丁目)
 - ・参加者 12名(男子10名、女子2名)
- プロ歌手と関係者2名が特別参加で15名

◇第12回開催 H28.9.12(月)

- ・歌謡練場うたおう(天神橋3丁目)
 - ・参加者 18名(男子10名、女子8名)
- 初参加が3名あり、盛り上がった。



[ハイキング同好会]

◇第11回 H28.5.24(火)

- 京の奥座敷 鞍馬・貴船散策(7キロ)
- ・参加者 12名(男子9名、女子3名)
- ・出町柳~貴船口~貴船神社~鞍馬奥ノ院~鞍馬寺金堂~由岐神社~鞍馬駅~出町柳
今回、初参加者3名、打ち上げを百万遍の「餃子の王将」で実施、高坂会長が特別参加。



鞍馬寺の山門前で全員

貴船のお茶屋で休憩する紅三点



◇第12回 H28.9.27(火)

嵐山から清滝・保津峡散策(8キロ)

- ・参加者 16名(男子11名、女子5名)
- ・阪急嵐山駅～トロッコ嵐山～愛宕念仏寺～清滝～トロッコ保津峡～保津峡駅

[グルメ同好会]

◇第5回 H28.6.30(木)

- ・インド料理アショカ(大阪マルビルB2)
 - ・参加者 11名(男子8名、女子3名)
- 北インド料理は初めての方が多く、マイルドな味で、ボリュームも多く十分堪能した。



◇第6回 H28.11.22(火) 予定

- ・松茸と近江牛の食べ放題
 - ・場所 松茸屋魚松(甲賀市甲賀町)
- (第1回と同じ企画で再度開催します)

[ゴルフ同好会・みすず会]

◇春季ゴルフコンペを開催

4月19日(火)11名が参加して晴天の中、平林運敏さん紹介の池田カンツリー倶楽部でラウンドした。今回は森田英寿さん、岩井光孝さんの2名が初参加、宮澤年典さんが優勝した。終了後、成績発表・表彰式をかねて軽食をいただきながら懇談した。

[成績] (敬称略)

- 優勝 宮澤年典 G103 N75.8
- 2位 福井暉子 G101 N76.1
- 3位 若林正伸 G105 N76.6

次回、秋季大会は10月25日(火)に泉南カンツリークラブで開催します。

「大相撲愛好会」

大阪場所(春場所)で御嶽海を応援

3月17日、大相撲愛好会メンバー13名が大阪場所(春場所)会場のエディオンアリーナ大阪に集まり、西前頭13枚目の御嶽海を応援した。

県人会の法被を着て「がんばれ御嶽海関近畿長野県人会」の横断幕を掲げ、声援を送った。取組みは元関脇の逸ノ城に敗れたが、NHKテレビに映り、また翌日の信濃毎日新聞でも報道されたので、ふるさとの親戚から見たよーという電話があった会員も。

終了後、有志で残念会を開催、今後も引き続き応援していこう！と誓い合った。



声援を送る愛好会メンバー

来年の春場所で応援しよう！

9月の秋場所では大銀杏の鬻も整い10勝5敗と好成績を残し、次の九州場所では新三役も期待される御嶽海を来年3月の大阪場所で応援します。(日程等詳細は後日)



ゴルフのスタート前 参加者全員

全国高校野球選手権大会
佐久長聖高校=2年ぶり7回目=
中井 良策

第98回全国高校野球選手権大会の初日8月7日の8時10分には当日券が売り切れる人気で、43,000人(連盟発表)の観衆が見守る中、開会式直後の第1試合に佐久長聖高校が出場、徳島県代表の鳴門高校と対戦しました。

試合経過は、先発の小林玲雄投手(3年)が初回到思わぬ2ランを喫したが、2番手塩澤太規投手(2年)は6回2/3を4安打無失点に押さえた。また打線も宮石翔生捕手は本塁打が出ればサイクル安打の3安打1四球と全打席で出塁、元山飛優主将が2安打と後半猛反撃をするが及ばず、2対3で鳴門高校に惜しくも敗れた。

一塁側アルプス席では、生徒・保護者・OB等約1,200名がバス30台に分乗して6日の20時に佐久を出発し徹夜で応援に駆け付けた。

応援席ではベンチ入りが叶わなかった5名の3年生を中心にした野球部員140名が一体となって応援をリードし、ベンチを鼓舞して



甲子園の夏を満喫していた。

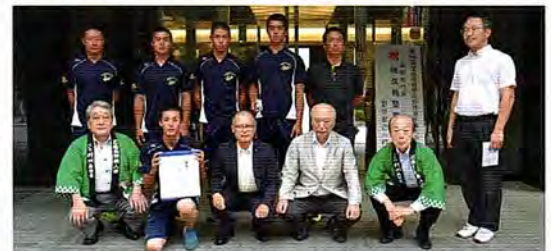
県人会からは有志34名が早朝にもかかわらず甲子園に集合し、開会式から観戦。熱中症を心配しながらも、選手の一挙手一投足に一喜一憂し、声援を送った。

試合終了後は、日吉食堂に17名が集まって恒例の慰労会を行い、応援で枯れた喉を潤し、15時には帰途に着いた。(佐久穂町出身)



佐久長聖 野球部選手を激励訪問
中井 良策

2年ぶり7度目の甲子園出場を勝ち取った選手を激励する為、8月3日に大阪入りした佐久長聖野球部の宿舎へ、長野県大阪事務所の樋口所長と当会の高坂会長・掛川事務局長・筆者の4名が5日の夕刻に訪問して、小林野球部長・藤原監督・元山主将以下4名の選手代表に面会。激励の言葉と陣中見舞い・金一封を贈り、大会での健闘を祈念しました。



上田西高校 軟式野球3年連続出場 ベスト4と健闘! 一県人会会員が全3試合を応援— 中井 良策

第61回全国高校軟式野球選手権大会に3年連続5度目の出場を果たした上田西高軟式野球部は、一回戦(8月25日)糸島農業(北部九州代表)を6対3で降し、二回戦(26日)登別明日(北海道代表)を延長12回2x対1でサヨナラ勝ちして明石トーカロ球場での準決勝戦に進んだ。

8月28日の対戦相手は地元関西の天理高校で、多勢の応援団をバックに終始優勢に進められ、0対0の延長10回、1死満塁での二塁へのゴロが本塁悪送球となり、1x対0でサヨナラ負けを喫した。

スタンドでは桜井校長先生と一部の部員、父母会が少数ながらも懸命の応援を送り、県人会は兵庫県長野県人会の赤羽会長、塩入副会長も参加、11名が駆け付けて、一回戦・二回戦に続いて故郷のチームに声援を送った。

慰労会は9名が参加し、魚の棚の『助六御膳』で寿司と明石焼きをつまみながら、話は尽きず、1時間半程を過ごしました。(佐久穂町出身)



大賑わい 鴨川納涼

嶋倉 宏

四条大橋を渡って行くと、まだ夕方5時ごろというのに鴨川西岸は人でびっしり。屋台、テントが立ち並ぶなか、人波をかき分けて進むと「がんばれ長野」のノボリが。京都長野県人会のブース。全国の各府県などが出店して毎年開かれている「鴨川納涼2016」の夕べだ。今年は8月6・7両日開かれたので6日に初めて参加したが、その賑わいぶりに驚いた。

ブースには有賀一夫会長、船坂昭夫副会長、山田孝久事務局長ら役員が「京都長野県人会」のハッピー姿で詰め、近畿長野県人会の高坂会長、小倉副会長らも姿を見せて歓談。たまたま東京から来た私の友人も立ち寄ってくれた。

長野県からは須坂市役所やJA須高の担当者、須高ケーブルTVの女性アナウンサーら6人が出張して来ていて、銘酒「雪中埋蔵」や信州ハムの「真田の里」腸詰など信州特産品の販売に汗だく。好評だったのは太さ3~4cmもある八町キュウリ。かじると瑞々しく、ほのかな甘みが口いっぱいに広がり、ふるさとの味が蘇った。売れすぎて品切れになり、追加の取り寄せに大わらわ。

この日京都は最高気温37.9度を記録したが、鴨川を渡る風は涼しく、まさに納涼の夕べ。

40年ほど前に3年余り住んだことのある私はこんな京都が好きだ。今年、京都長野県人会に新規加入した。(長野市出身)



第6回 佐久間象山塾に参加 高坂 昌利

9月3日(土)長野市のホクト文化ホールで「佐久間象山塾」が開催された。象山先生のような広い視野をもち、世界を舞台に活躍できる人材を地元信州から輩出したいという想いで、佐久間象山塾運営委員会(安藤喜久雄会長)が主催、今回は1,850名が参加した。

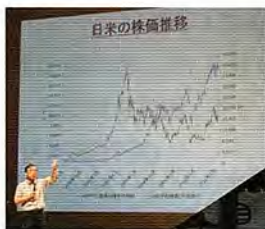
始めに安藤会長が挨拶、続いて特別協賛のAOKIホールディングス青木擴憲会長、加藤久雄長野市長が挨拶した。

講師として、ベストセラー「女性の品格」の著者・坂東眞理子昭和女子大学理事長が「大人の教養～グローバル時代に生きる～」と、真壁昭夫信州大学経法学部教授が「これからの経済・金融の動向を読む」と題して講演した。

主催者の運営委員会と京都長野県人会とは長年交流があり、今回も有賀会長はじめ役員が7名出席。私と島田宗人理事(松代町出身)の2名も自費参加した。

「塾」終了後、地元松代町に戻り、運営委員会主催の慰労会・交流会に出席し、講師の坂東眞理子氏も出席されて親交を深めた。

翌日は象山神社を訪ね、本殿で正式参拝。高杉晋作、久坂玄瑞などと会談の場になった



「高義亭」を見学して象山先生を偲んだ。
(長野市松代町出身)



八田興一のこと 小林 道明

今年のゴールデンウィークは5月7日から3泊4日で納税協会の役員有志と台湾へ旅行した。私は台湾へは何度も行っているが、皆にぜひ見てもらいたいものがあり、阿里山へ案内した。阿里山閣大飯店に一泊し、阿里山森林公園を散策した。

皆に見てもらいたいものとは、そこに立っている神木だ。樹齢2,300年程、直径6mもある檜の大木で、その前に立つと巨大さと神々しさで思わず身の引き締まる思いだ。日本占領時、平野部の檜はどんどん日本へ送られたが標高が2,000mを超えるこの阿里山付近では、切られることもなくそのまま残ったものと思われる。

この散策の後、バスで次の目的地 烏山頭水庫に向かった。ここはかの有名な八田興一技師ゆかりの地だ。彼は金沢で生まれ、四高、東大と進んで、弱冠34才の若さでこのダムを測量、予算組、工事などすべてをやり遂げたという偉人だ。

台湾の人に「知ってる日本人は」と聞くと殆んどの人が「八田興一」と答える。さとうきびも採れなかった嘉南の地に東洋一のダムを造ることにより、縦横に水路ができ、米を始めとしてあらゆる作物を飛躍的に増産させることができたという。

5月8日は八田の命日で、毎年この地で感謝祭を行っており、会場に着くとすでにセレモニーが始まっていて、政府要人、各種団体の挨拶が行われていた。「私も後輩です」と名乗り、記帳して白い菊の花をもらい献花した。テントがいくつも並び、数千人の人々が集まっており、八田の功績や現地の人々の感謝の念が伝わってくる思いだ。

「私も八田の後輩」とはちょっとおこがましいが、先人にこのような大人物がいたとは、我々の誇りであり、後世にも語り継いでいくことが大切だと思いました。
(長野市松代町出身)

沖縄8島巡りの旅

小泉 俣朗

私は年1回、海外・国内を問わず夫婦で旅する事を生活の励みとしており、今回は4月に沖縄へ3泊4日の旅に出た。

沖縄は米軍基地、地位協定など、いろいろな問題を抱えているが、かつて明治初期までは「琉球王国」として独自の文化を持ち、タイ・中国と交流した王国であった。

今回は、沖縄本土は別日程で訪問する事にして、海の美しい8島巡りの旅とした。

第1日目ー伊丹空港⇒那覇空港⇒宮古空港まで約3時間。宮古島～池間島、伊良部島など小さな島を巡り、雪塩ミュージアムを見学。佐和田の浜では干潮時(15時頃)海上に巨大な岩が無数に出現し、青い海辺に突如月面を見た思いに駆られた。

周囲には沖縄県の花、デイゴが赤く鮮やかに咲き誇っていた。

第2日目ー東平安名崎(あがりはん)…東はあがりと読む…観光後、来間島(くるま)の白い砂浜、青い海に囲まれた風景を満喫し、宮古空港⇒石垣島空港へ(約40分)。川平湾(かびら)ではグラスボートで海底の巨大サンゴ・熱帯魚が見え、サンゴの餌取りも見る事が出来た。

第3日目ーこのツアー最大の見所。石垣港⇒西表島港(いりおもて)へ。ボクシング具志堅用高の銅像の出迎えを受け、日本最大のマングローブが茂る仲間川をクルージング。ジャングルの中を進み、マングローブの林の中にはエイなど海洋性魚類が生息しているとのこと。石垣島⇒由布島へ水牛車で渡る。干潮時は由布島まで砂浜になるが、我々は12時頃のため車の半分まで海水に浸かり、約30分沖縄民謡を聞きながら、青い海・青い空・そよ風を感じ、至福の時を過ごした。由布島⇒竹富島へ。今度は陸上水牛車で島を散策。途中で海岸に

降り、星の砂を採取。ホテルでは南十字星見学ツアーがあったが断腸の思いで取りやめた。

第4日目ー全ての観光日程を終え、おみやげの泡盛(琉球王朝)、ちんすこう、雪塩、黒砂糖などを持ち帰った。

全日程天候に恵まれ、とてつもなく青い海と空は、関西では味わえない、大自然に満足した旅であった。(上田市出身)



高級なブドウ

藤保 君子

石川県が開発した高級ブドウ「ルビーロマン」を尼崎市のスーパーが1房110万円で競り落とした、と7月7日に報じた。

ブドウといえば私の親族も4軒、中野市でブドウ栽培をしている。志賀高原の裾野に広がる扇状地は砂れき地帯で、朝夕の寒暖差もあり年間降雨量は少なく、雨を嫌うブドウ栽培に適しているそうだ。巨峰の出荷量は中野市が日本一だとのこと。

8年前の霜月に実家で慶事があり帰省した。一族30人が居間に集まって二次会をした。宴たけなわのころ甥が「種無しピオーネ」1房を私にくれると言った。皆が注目する中で測ってみると大きな粒が39粒で、940グラムあった。「この季節にどうしてこんなに見事なものができるの?」「晩生種は少しずつ施肥をして『まだ実りの時期じゃないよ』ってだまし、だまし枝葉を茂らせるんだけども、霜が降ったら枯れちゃうから、その兼ね合いがむずかしいんだよ。季節を外すことによって値段も高くなるしね」

と得意げに教えてくれた。

私は早く信州を後にした身だ。親族が暮らす町村が発展しますように、自然災害がやって来ませんように、春からの労働が無駄になりませんように、とずっと祈ってきた。

県人会の役員会でたまに大阪へ出向く時、デパ地下をウォッチングする。暮れになるほどに値が高騰し「シャインマスカット」などは、1箱1万円にもなる。

近年、温暖化で地球規模で風水害が頻発して田畑どころか、自分の命を守ることさえ紙一重の状況になってきた。極端に季節はずれの作物はもう地球に負荷がかかりすぎる。日本中の、いや地球上に暮らす動植物すべてが平和に共存できますように、と私の祈りは変化している。

競り落とされたブドウは1粒3万7千円とか。店では7月8日の15時から買い物客に、無料で試食してもらおうそうだ。(中野市出身)

った実家の庭木などの手入れに今も通っていますので、3月25日の長野発ラストランに乗れるように2泊3日の長野行きをセッティングしました。

当日の長野駅には大勢の鉄道ファンがカメラを構えて集まっていたし、新聞社やテレビ局も取材に来ていました。自由席の車内は満席状態で、これらの人たちや駅長さんにも見送られて出発しましたが、途中の篠ノ井や松本などの駅ごとに鉄道ファンの人だけがありました。この状況は名古屋でも、岐阜・米原でも同様でした。

下の写真はラストラン乗車記念のパンフレットと乗車記念証で、京都に着く直前に車掌さんから配られたものです。京都駅のホームには、このお宝ともいえる記念品をもらおうと、大阪まで乗車する鉄道ファンが行列をしていました。

永年お世話になった「直通特急しなの」の最期を見送ることができて、よい記念になりました。

(長野市出身)

「直通特急しなの」ラストラン
安藤 隆雄

今春のJRダイヤ改正で大阪ー長野間の「直通特急しなの」が廃止になり、昭和46年の運転開始から45年の歴史に幕を降ろしました。

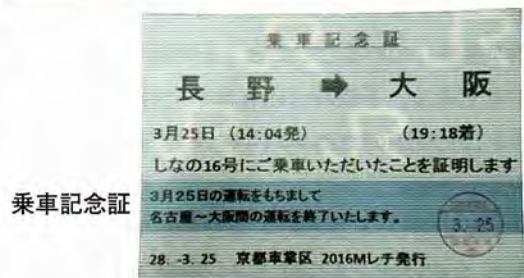
この特急は441.2kmという昼間の特急では最長距離を走るだけでなく、JRの分割・民営化により、JR西日本・東海・東日本の3社をまたいでいるので、境界駅の米原と塩尻でそれぞれ運転手と車掌が交代するという珍しい運行形態でした。

長野で一人暮らしの母が10年ほど前から介護施設のお世話になり、私は毎月、様子を見に長野へ通うことになりました。新幹線との乗継に比べて1時間ほど時間はかかりますが、乗換がなくて便利なのと安上りなので、ジパング倶楽部の手帳のスタンプが限度枠いっぱいになる程、何度も利用していました。

その母も3年前に亡くなりましたが、空き家にな



パンフレット



乗車記念証

平成29年定期総会・新年懇親会 (予告)

来年の日程・会場が決まりました。皆様には年末に詳細ご案内をお送りします。

- ・日程 平成29年1月29日(日)
- ・会場 ホテルグランヴィア

個人会員の年会費の改定について

本年の定期総会で個人会員の年会費改定が承認され、平成29年1月から実施されます。

- ・個人会員の年会費 改定後：3,000円
(7月以降の新入会員：2,000円・加入年のみ)
- *役員、配偶者(家族)は変更なし

新入会員の紹介 (平成28年3月以降)

(敬称略：氏名・出身地＝紹介者)

- 仲田武二・みつ江(喬木村) = 事務局
- 木村 憲行(松川村) = 事務局
- 玉井 成男(上田市) = 事務局
- 内山 純男(喬木村) = 事務局
- 小倉みなみ(家族会員)＝小倉尚子(岡谷市)
- 小倉 千裕(家族会員)＝小倉智子(岡谷市)

ご 逝 去 (敬称略)

- 金井袈裟義(千曲市) 平成28年5月25日
- 中村 啓輔(上田市) 平成28年8月19日
- 上島 武(辰野町) 平成28年8月21日

上島 武 元監事のご逝去を悼む

会長 高坂昌利

平成19年に選任され、昨年に体調を崩され辞任されるまで8年間監事としてご指導いただきました。大阪経済大学学長を退任されてから経済学者として専門研究「ロシア革命史論」を発表する傍ら「趣味の産物」として「万葉集ノート」を出版されるなど、温かい人柄が伝わる大先輩でした。長年のご貢献に感謝申し上げますとともに衷心よりご冥福をお祈りします。

副会長会の開催

○平成28年6月2日(木)11時15分

たちばな・ヒルトンプラザ・イースト店
出席者 14名

(1)第4回全員懇親会の開催について

- ・日程 平成28年9月17日(土)
- ・会場 えびす宮総本社西宮神社会館
- ・会費 6,000円
- ・内容 人形芝居えびす座の公演・懇親会上記の承認を受けて、6月9日付で全会員へ「全員懇親会開催ご案内」を送付した

(2)役員会の開催について

・日程、会場、議案について決定

(3)個人会員の入会紹介について

役員会・役員懇親会の開催

○平成28年7月29日(金)17時30分

スーパードライ梅田 34名

(1)第4回全員懇親会の開催について

開催内容について説明、出席および参加動員をお願いした

(2)個人会員の入会紹介について

入会申込書を配布、同窓会等での勧誘など積極的な紹介をお願いした

[懇親会] 会費：4,000円

役員会終了後懇親会に移り、同好会の活動状況など情報の共有と相互交流をはかった

編集後記

今号は西宮神社での全員懇親会をトップ記事に掲載するため、例年より1ヶ月遅れの発行になりました。立派な神社会館で、文楽のルーツと言われている「えびす舞」の鑑賞という、普段では見ることのできない貴重な体験をさせてもらいました。今後も、趣向をこらした企画を考えて実施したいと思いますので、皆さんふるってご参加ください。(安藤隆雄 記)

「信州」という選択。

長野県への産業立地 4つのしあわせ

信州で“繋がる”しあわせ

日本の真ん中
関西とのアクセスもより便利に

信州で“続ける”しあわせ

良質な水が豊富
強固な地盤と少ない降水量

信州で“感じる”しあわせ

時間にも住空間にもゆとり
健康長寿と勤勉で豊富な人材

信州で“広がる”しあわせ

次世代産業の創出を目指す取り組み
研究開発拠点の立地場所として好適地



しあわせ信州

■産業立地のお問合せは 長野県大阪事務所
TEL:06-6341-7006 FAX:06-6456-2889
E-mail:osakajimu@pref.nagano.lg.jp